

# けやき

龍ヶ崎市立城西中学校

学校だより

2020. 2.13号

文責 根本 清史

320人(1年99, 2年102, 3年119)

<https://www.city.ryugasaki.ibaraki.jp/jyosaichu/index.html>



## スポーツから学ぶ



先日、研修会があり FIFA ワールドカップレフェリーの西村雄一先生の記念講演を聴く機会がありました。2010・2014 ワールドカップ、2012 ロンドンオリンピックのレフェリー(主審)を務め、現在はプロフェッショナルレフェリーとして活躍されている方です。サッカーの審判のイメージはレッドカードやイエローカードを出す人・厳しい人などがあるようですが、丁寧で分かりやすい講演だったことと、学校生活だけでなく、普段の生き方にも関する魅力あふれる内容でした。

その中から城西中のみなさんに伝えたいと感じたことのいくつかを紹介したいと思います。生活の中でもスポーツを行っている時でも「えっそんなこととしてはダメだよ」「それは反則でしょう」という場面があると思います。

### 1 「ずるいこと」・「アンフェアな振る舞い」をする人は・・・

その時はその場を上手く乗り切ったとしても、自分自身で「**自分の評判**」を落としていることにつながっている。「**誠意ある行動**」・「**正直な心**」を磨くことを繰り返している人は、いつの間にか自分の「**人間力**」を高めています。このお話から“学校生活も同じ”だと感じました。

### 2 「ルールを守るのは = 自分自身」！！

スポーツのルール・交通ルール・学校生活のきまり(ルール)など、「**ルール**」が、みんなで「**守るべきこと**」を定めていて、「**ルール**」が「**違反行為の罰則**」を与えています。

【※学校生活でルールを守れなかったとしても罰則はありませんが…】

審判員は人を罰しているのではなく「**どんなこと(行為)があったのか**」事実を見極めているだけです。「**守るべきこと**」は**自分もみんなも知っていて**「**どんな行動をするのか**」は**自分で選択**できます。

誰かがルールを守らせているのではない

自分で **責任をもって行動する** 正しい行動 = フェアプレー

誰かが見ているから…、先生に注意された(される)から…、親に叱られるから…、罰則があるから…ルールを守るのではなく、一人ひとりの判断で“責任をもって行動する”ことが、正しい行動となって、全体として適切な状態になるということです。

城西中の生徒のみなさんは多くの場面でルールを守り、マナーを意識した行動をとることができているように感じます。その“ルールを守る”ことの意識を自分自身の内面に向けて、さらに生活しやすい城西中にしていきましょう。

## 中学校生活のまとめ

3年生が中学校で生活できる日数は『残り20日』となりました。日々の時間を大切にしていますか。この限られた時間の中で、“やっておくべきこと・やりたいこと”をしっかりと行ってください。毎日、「これをやろう」というようにテーマを絞って取り組むのも良いでしょう。または、「卒業まで〇〇を続けるぞ」ということも素晴らしいと思います。時間を大切にすることは、自分だけでなく周りの人も大切にすることにつながります。頑張れ3年生！